

課題名

感染性胃腸炎ウイルスゲノム検出 multiplex qPCR 法の検討

1. 研究の背景及び目的

島根県保健環境科学研究所では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生動向調査事業として感染性胃腸炎の原因ウイルスを PCR 法により検出しています。胃腸炎の原因となるウイルスは多種類存在し、従来はウイルスごとに個別の PCR 法（以下「従来法」）を適用していましたが、この方法は検査に多大な時間と労力を要するという課題があります。

国立感染症研究所では、感染性胃腸炎の起因ウイルスであるノロウイルス（GI, GII）、サポウイルス、ロタウイルス（A 型・C 型）、エンテロウイルス、アデノウイルス、パレコウイルス、アストロウイルス、アイチウイルスを同時に検出できるリアルタイム PCR 法（以下「感染研法」）を開発しています。

本研究では、検査業務の効率化を目的として感染研法の導入を検討します。

2. 研究の対象

令和元年 1 月以降、感染症発生動向調査事業に基づき、感染性胃腸炎疑い例として島根県保健環境科学研究所へ提供された便または吐物を対象とする。

3. 研究の方法

研究の対象検体から核酸を抽出し、従来法でウイルスが検出された検体と検出されていない検体各々約 50 検体を用いて感染研法による検査を行い、検査結果を比較します。

検査は検体を保管する島根県保健環境科学研究所で行われます。検体提供者の情報については、検体の由来(便又は吐物)、発症日、採取日並びに従来法で検出された病原体名と感染研法で得られた結果のみ国立感染症研究所に提供します。

上記研究の対象となる情報は個人が識別できないよう管理されます。

もし研究対象者情報の利用について拒否の申し出があった場合は、上記情報の利用を停止しますので、下記問い合わせ先にご連絡をお願いします。

4. 研究の実施場所及び実施期間

研究の実施場所：島根県保健環境科学研究所感染症疫学部ウイルス科

実施期間：令和 8 年承認日～令和 10 年 3 月 31 日

研究組織

島根県保健環境科学研究所感染症疫学部ウイルス科 安達俊輔

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 検査診断技術研究部第三室 岡本貴世子

研究責任者 所属・氏名

島根県保健環境科学研究所感染症疫学部ウイルス科 安達俊輔

試料・情報の管理について責任を有する機関の名称

島根県保健環境科学研究所

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所

問い合わせ先

〒690-0122 松江市西浜佐陀町 582-1

島根県保健環境科学研究所 感染症疫学部ウイルス科 安達俊輔

TEL 0852-36-8181